

九重山

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、1 (静穏な火山活動) でした。

概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は 600m(2月:400m)で、特に異常は認められませんでした(図1、図2)。

地震・微動活動の状況

地震の月回数は 32 回(2月:32回)でした(図1、図2)。このうち、9個の地震の震源が求まりましたが、これらの震源は、久住山の北西 5 ~ 8 km(図3)で、火山活動には直接関係ないものと思われます。

なお、火山性微動は発生しませんでした。

地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、坊ガツル - 牧ノ戸峠の各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした(図4)。

噴気地帯の状況

3月16日の火山機動調査観測によると、D領域d列火孔からの噴気は見られませんでした。2004年5月11日に噴気が見られなかったD領域c列火孔からは、白色で高さ5mの噴気を確認しました(図6~11)。

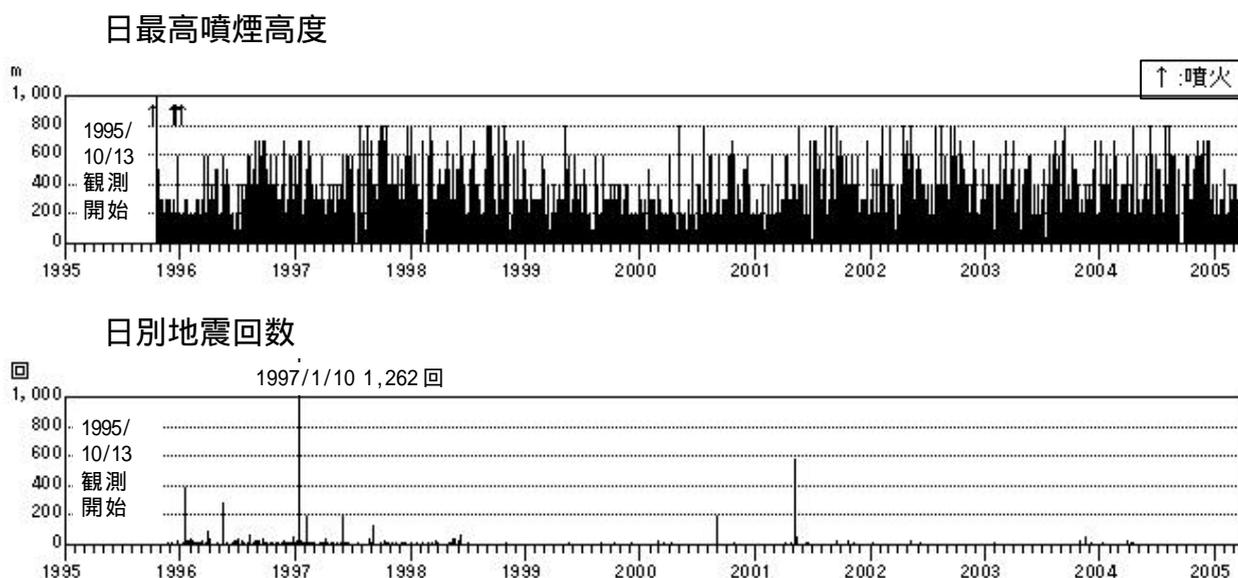


図1 火山活動経過図(1995年10月12日~2005年3月31日)

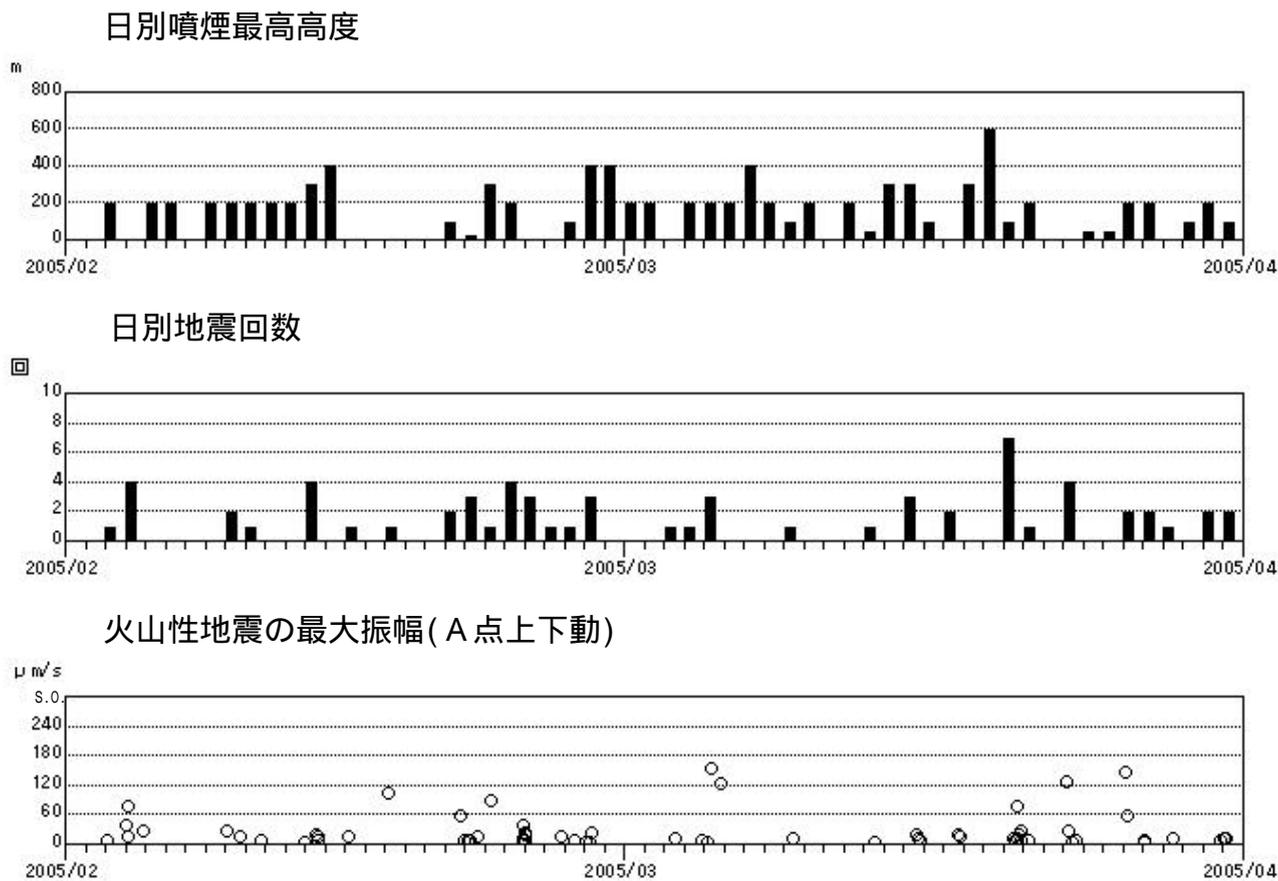


図2 火山活動経過図(2005年2月1日~3月31日)

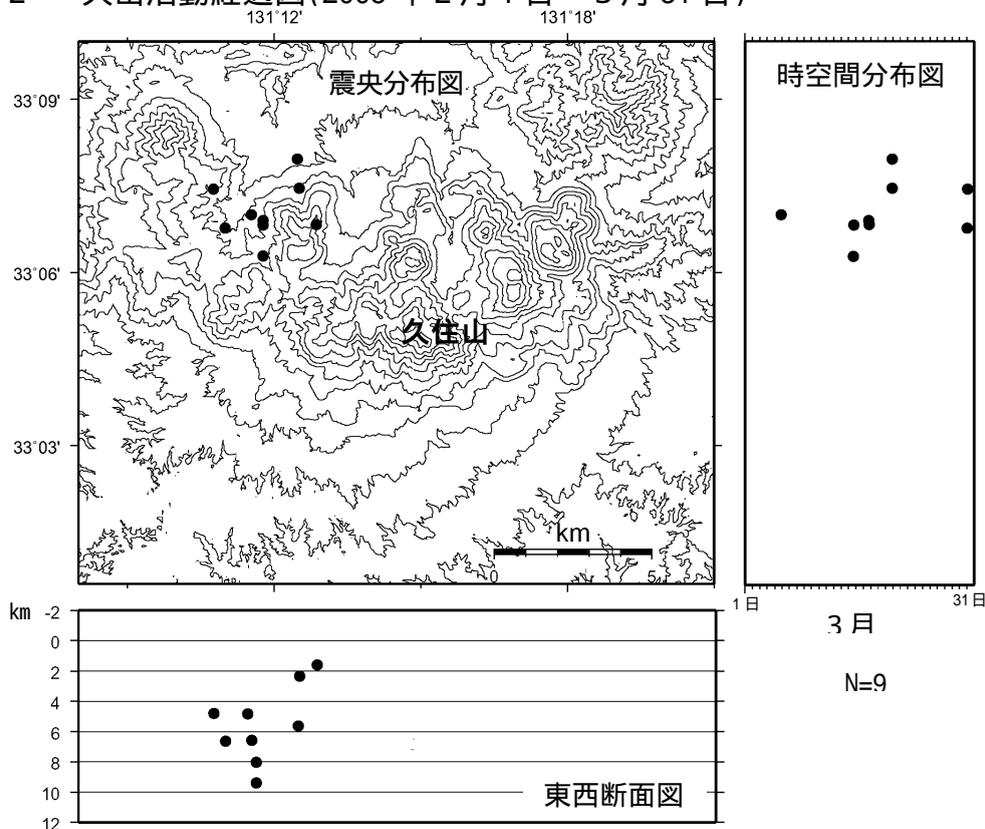


図3 火山性地震の震源分布図(2005年3月1~31日)

本資料は、防災科学技術研究所、気象庁のデータを用いて作成している。

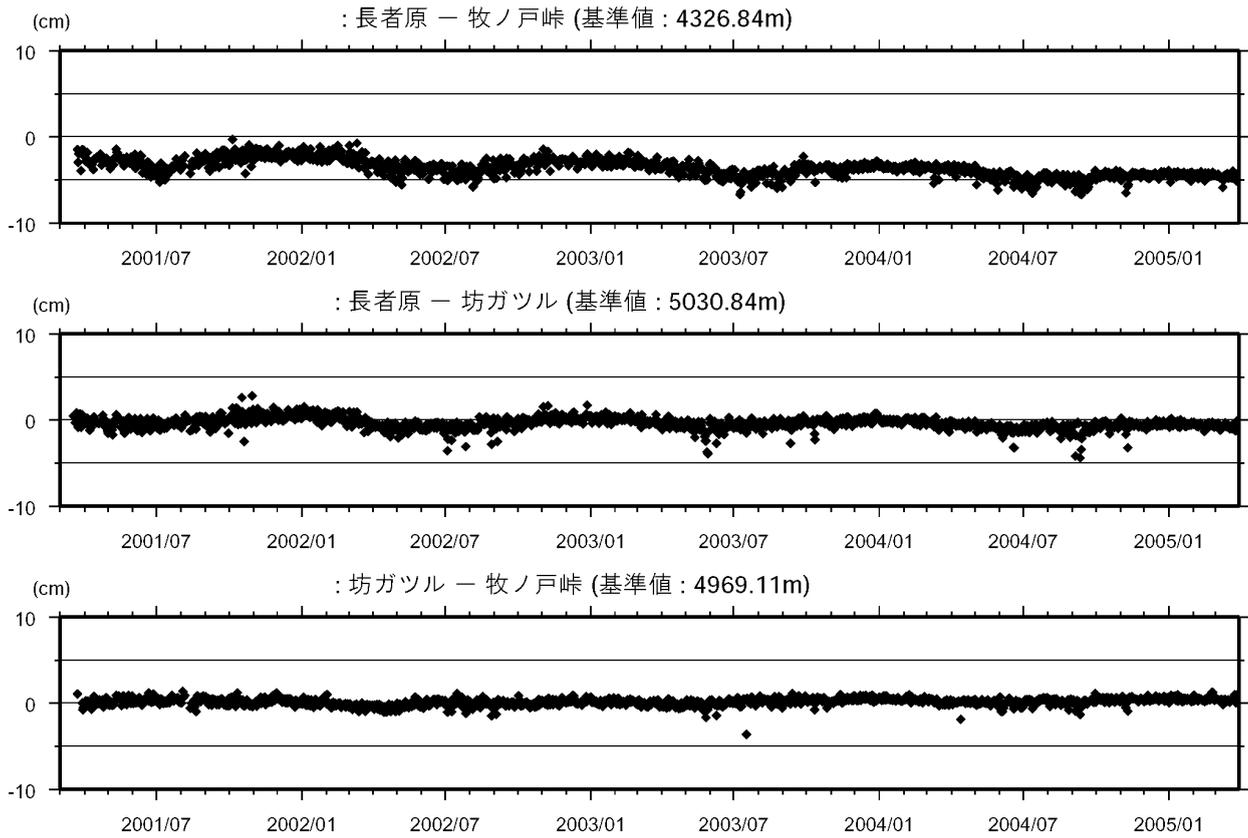


図 4 GPS による基線長変化図(2001 年 3 月 1 日 ~ 2005 年 3 月 31 日)

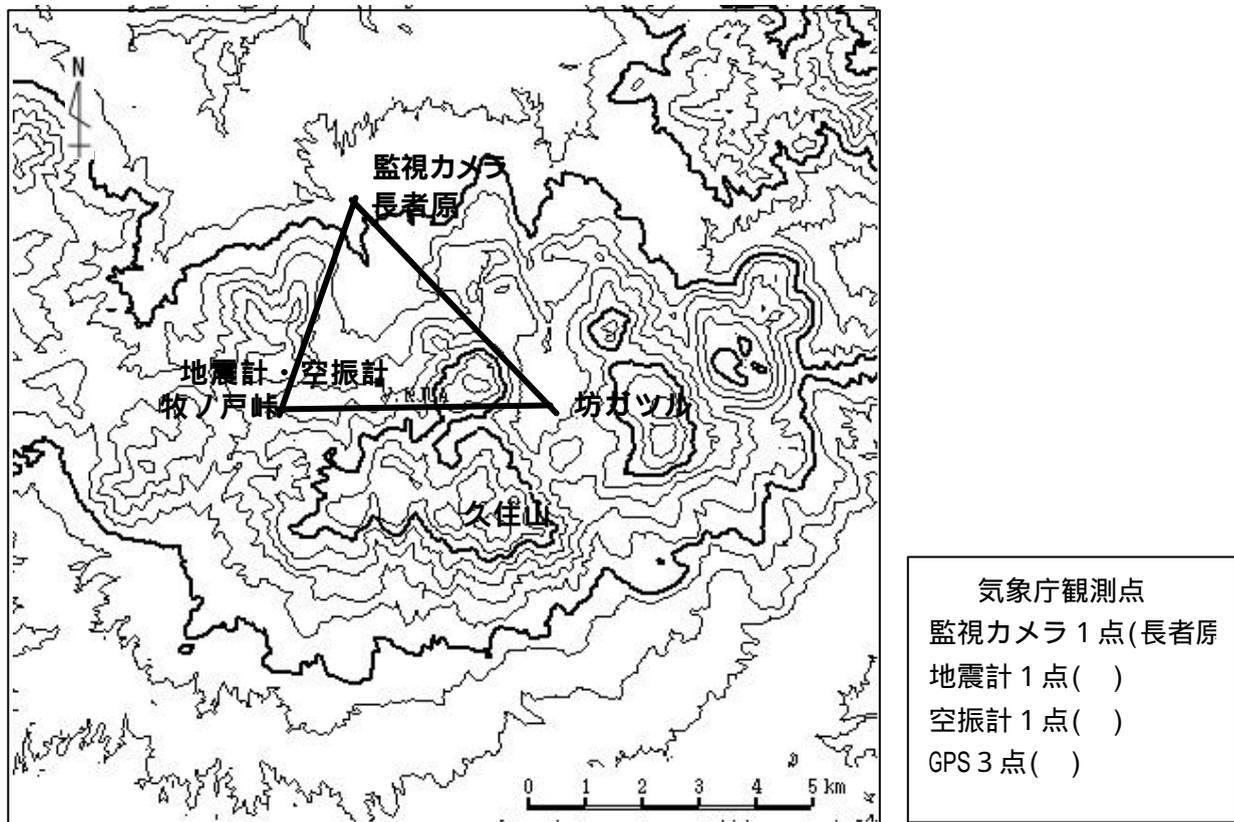


図 5 観測点配置図

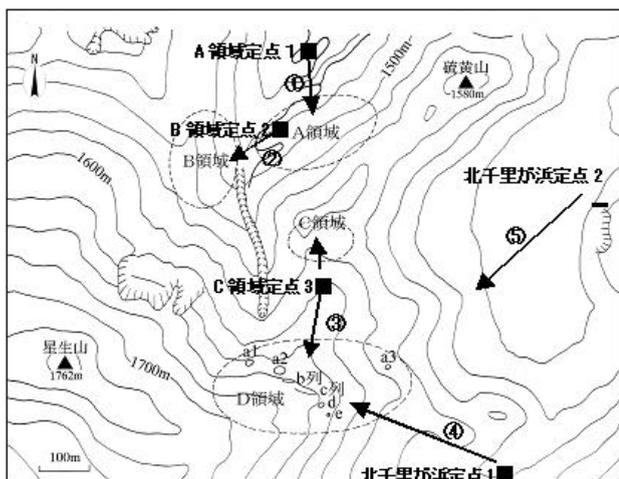


図 6 機動調査観測観測点位置図



図 7 定点 1 から A 領域を撮影(図 6 中の)
噴気の色は、白色で高さ 50m。



図 8 定点 2 から B 領域を撮影(図 6 中の)
B 領域からの噴気の色は、白色で高さは 30 m。また、誰にでも聞こえる程度の噴気音を観測した。



図 9 定点 3 から D 領域を撮影(図 6 中の)
D 領域 b 火口列からの噴気は、白色で高さは 20m。



図 10 北千里が浜定点 4 から D 領域を撮影
(図 6 中の)
b 火口列からの噴気は、白色で高さは 20m。
c 火口列からの噴気は、白色で高さ 5 m。
d 火口列からは噴気は上がっていない。

九重山



図 11 北千里が浜定点 5 から D 領域を撮影
(図 6 中の)
b 火口列からはわずかに白色の噴気が上が
っていた。